



北海道紋別高等学校 学校便り

希望の学府



第199号

北海道紋別高等学校

〒094-8643

北海道紋別市南が丘町6丁目3番47号

TEL : 0158 (23) 3068

発行日 令和7年3月24日

今年度を振り返って

紋別高校に赴任して一年が過ぎようとしています。この一年間を振り返ってみると慌ただしい一年だったように思います。それは、新型コロナに関しての規制が様々なところで緩和され、日常生活において活発になる場面がありました。なかでも紋高祭は数年ぶりにフルの開催となり、数ヶ月前から準備に取りかかり、実施期間中はあらゆる場面で君たちの素晴らしい活躍が見ることができ、大変感動しました。私も初めての紋高祭を拝見し、紋高そーらんをはじめ各種イベントでは熱心な活躍を拝見し、どのクラスも一生懸命取り組んでおり、大成功に終わることができたと感じています。

他にも各部活動などにおいても全道大会や全国大会に出る部活動なども多く、それぞれのステージで普段の頑張りを発揮できたことを嬉しく思っています。皆さんは紋別高校の生徒として誇りを持って何事にも熱心に取り組む、普段の授業はもとより、学校内外の活動も様々な場面で一生懸命取り組んでいました。

これからも紋高生としてあらゆる場面で活躍していくことを期待しています。 文責：教頭 矢吹義則

卒業式と3年間を振り返って

3月1日(土)、129名の卒業生が、3年間過ごした学び舎から無事に巣立っていくことができました。コロナ禍から緩和へ至る流れと共に、高校生活を過ごしてきた今年度。黙食で始まった昼休みも、卒業を迎えるころは友人同士で机をくっ付けて、お弁当を囲み、何気ない会話を楽しむ姿が当たり前となりました。また、学校祭の模擬店を始め、規制されていたものが徐々に再開されてきたのもこの3年間でした。そういった意味で変化の多い学校生活を送ってきた第18期生ですが、新しいことにも常にチャレンジ精神と協働する姿勢を忘れず、リーダーシップを発揮して、紋別高校を引っ張っていた姿を思い起こします。これからは、一人ひとりが選んだ進路に向かって、培ってきた個性を存分に発揮し、活躍していくことを心より願います。

最後になりますが、3年間お世話になりました保護者の皆様、地域の皆様に感謝申し上げます。文責：3学年主任



転退出する教職員

氏名	転出先	氏名	転出先
森田 泰史	役職定年	宮下 杏奈	任期満了
石橋 雄二	室蘭工業	茂木 優奈	任期満了
水上麻衣子	当別	平泉 勇人	室蘭工業
小泉健太郎	小樽未来創造	笹谷 直樹	千歳
佐久間康司	江差	大平 健人	後志教育局
伊藤 翼	静内	保科 歩美	岩見沢農業
大淵 貴志	苫小牧東		



電子機械科の取り組み

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、電子機械科では、ものづくりを通じて、様々な教育活動を展開してまいりました。各企業の方々にご協力いただき進路活動に向け3年生は旭川市にて、1・2年生は合同で砂川市にて、工場見学を実施することができました。工業クラブ大会では数年ぶりの参加となりましたが、1年生から3名が初出場し団体で3位入賞という成績を出し活躍してくれました。また、実際に企業で働いている本校OBの先輩方に来校していただき、経験談や企業紹介、そしてアドバイスをいただいたOB進路講話など、生徒が自分の将来を想像する機会をつくることができました。また、3年生は全員が希望する進路に進むことができました。しかし、就職や進学が決まったら終わりではありません。自分が就職した企業、進学した学校でどのようになっていきたいのかを考え、将来に向けた努力を紋別高校にいる今から継続して行って欲しいと願っています。

電子機械科では「ものづくりは人づくり」と考え、卒業していった生徒が社会に出て少しでも楽しく頑張れるように教員一同、創意工夫を持って頑張りますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

文責 電子機械科長

〈3年 工場見学〉



〈1・2年 工場見学〉



〈ガス溶接講習〉



〈課題研究発表会〉



総合ビジネス科の取り組み

今年度も総合ビジネス科は、将来の紋別市を担う人材の育成に努めてまいりました。総合ビジネス科は、地域活性化をテーマに国際交流をはじめ、販売実習や異校種連携などに力を入れています。国際交流では、タイのウドムスックサー学校との交流が5年目を迎えました。親日国であるタイと友好関係を築くことで、内容がレベルアップしていますが、英語が苦手でも他国の同世代の生徒と交流したいと思う生徒が増えました。紋別市は、タイの3校と連携協定を結んでいます。今年度も3年生の課題研究ではピーコンハウスとも交流を行いました。

紋別市国際交流推進室様主催の技能実習生向け社会科見学や夏・冬の交流会には国際交流に参加している2・3年生が国際交流の一環として、今年度も参加させていただきました。

また、タイ短期留学生との「お泊まり交流会」や「技能実習生向け日本語教室」等に積極的に参加するなど、生徒の課題でもある「コミュニケーション力」を向上すべく、本学科の特色である国際交流を通じて生徒たち自ら克服に努めていました。

1月末から全6回実施される英会話教室に私はこの3年間参加してきましたが、今年度は初めて総ビ科の生徒と一緒に参加して、英会話を学び、そしてスキルアップできたと実感しています。次年度で最後となる「北海道商業教育フェア」では、座学で学んだ接客やビジネスマナーなどを生かし、紋別の知名度向上に向けた取組を行ってきました。6年目となる「イオン販売実習」では新商品スイーツや、日糧製パン様との共同開発した2種類の「おにぎり」を北海道イオン様全店舗にて販売し、大盛況でした。学科を超えて普通科と総合ビジネス科の希望者が参加した北方圏シンポジウムでは、中高生英語ボランティアとして10名以上の生徒が各国の研究者たちと英会話を通じてコミュニケーションを図り、研究者や市役所職員からも好評で、また一つ歴史のページをめくることが出来ました。

次年度は、紋別市短期留学派遣事業の年度でもあることから、より一層、たくさんの経験を元にタイと友好関係を築きあげて「グローバル販売実習」や「異文化交流」をより発展できるよう努めていきたいと考えております。

ここ
～総ビから始まる～

総合ビジネス科とタイとの国際交流は2020年から始まりました。新年度は、より異文化交流に興味がある生徒が参加してくれることを願っています。生徒たちが座学で学んだ英語の知識・技術を実践するより良い機会を大きな経験として未来に羽ばたけるよう活動して参りますので、地域の皆様、引き続きご協力をお願いします。

文責：総合ビジネス科長

〈商業教育フェア〉



〈紋別空港販売実習〉



〈イオン販売実習〉



〈イオンおにぎり販売〉

